



## 野鳥観察と救急外来診察

内科医師 脇田 隆寛

最近はずっとさっぱりですが、以前はよく登山をしていました。登山の楽しみは眺望・食事などいろいろありますが、私は、中でも野鳥を見ることが好きでした。野鳥は種類がそれほど多くはないので、昆虫や植物ほどのマニアックさがなく、私のような素人でも十分に楽しむことができます。

昆虫や植物に比べて種類が少ないとはいえ、よく見られる鳥だけでも数百種はいますから、やみくもに種を当てようとしてもできないものです。では、どうするのか？夏しかない鳥や山にしかない鳥など、まずは季節・場所で対象を限定していきます。さらに歩き方（足を交互に動かして歩くか、両足をそろえて跳ね歩くか）などからも対象を限定していきます。こう言うと難しく聞こえるかもしれませんが、慣れれば無意識に対象を限定することができるようになるものです。

診察も同様で、やみくもに検査をしてもまったく診断は当たりません。年齢・性別などから意識的あるいは無意識的にあり得そうな疾患を絞っていきます。この際に大事なのが皆さんからの情報です。「ともかく医者の前に立てば自動的に診断がなされるだろう」というように医者に幻想を抱いている方がいらつしやいます。少なくとも私はそのレベルの名医ではありません。疾患を絞っていくためには情報が欠かせないので、症状はもちろん大事な情報ですが、それは皆さんしっかりと訴えてくださるので問題ありません。問題なのは、薬・既往歴・喫煙／飲酒習慣・家族歴などで、ご自分のことであるはずなのに意外と明確な答えが得られません。「備えあれば憂いなし」ですから、紙に書いておくなどして、時々更新すると良いのではないのでしょうか。救急外来を受診する際にはそうした紙を持参してくださいと（特に高齢の方は）診察の大きいなる助けとなります。

皆さんが救急を利用するようない機会がないように健やかに過ごされることを祈っています。必要とあれば遠慮なく受診してください。

## 市長の部屋から



10月10日(土)



レクリエーションスポーツというのは、子どもから大人まで、性別を問わず、誰もが運動を気軽に楽しめるところに魅力があります。このスポーツは勝敗にこだわらず、人と人の和を築くのに最適であると思います。

来年、岐阜県で全国レクリエーション大会があり、県内の各市町村でさまざまなレクリエーションが行われます。ここ陶史の森では、レクリエーション協会の皆さまのご尽力によりウォークラリーが開催されます。来年の全国大会の成功を祈念するとともに、ここにお集まりの皆さまが今日のイベントを通じて世代を越えた交流を図られることを願っております。

土岐市長 加藤靖也

平成28年9月に開催される全国レクリエーション大会in岐阜のプレイベントである「ウォークラリーin陶史の森」に出席しました。このイベントでは、陶史の森内を歩いてクイズに答えるウォークラリーのほか、誰もが楽しめる軽スポーツも紹介され、多くの参加者でにぎわいました。

